



出町ゆかりだより

日本共産党
高槻市議員

発行：日本共産党高槻市議員団 出町ゆかり

連絡先：議員団控室 TEL072-674-7230 FAX072-674-3202

NO.162 2026年8月



暮らし応援の緊急要望

物価高騰がとまりません。円安やイラン戦争の影響で、さらなる物価上昇への不安も大きくなっています。ナフサ不足で建築業などは物資が入ってこないため、仕事ができない状況があり、倒産する事業所もあります。国民生活は物価高に収入が追いついていません。今、一番大変なのは国民の暮らしです。国民の所得が増え、暮らしが安定することが大事です。

高槻市ではこの間、水道料金の基本料の無償化、また9月からは8回目のプレミアム商品券の利用が始まります。それでも市民の暮らしは大変です。

夏休みを前にNPO法人キッズドアが実施した調査では困窮家庭の多くが休み期間中、食事量の制限やエアコンの使用制限を余儀なくされると答えています。回答者の9割以上

がひとり親家庭です。酷暑の中、クーラーがあっても電気代が高いので、つけられないという高齢者やシングルマザーへの直接的な支援が必要で、ボランティアで実施しているフードバンクでは実施ごとに利用する人が増え、短時間で用意していた物品がなくなるといった状況です。

この夏に備えて、緊急に暮らし応援の施策を希望します。また、物価高騰は夏以降も続き、市民の暮らしはさらに大変になります。高槻市においては来年度も見据えた長期的な暮らし応援を今後実施するよう要望します。



① 小中学校の夏休み期間に食料支援などを行うこと。

② 高齢者・障害者・低所得者世帯、ひとり親世帯等を対象にエアコンの購入や修理費用への助成を行うこと。エアコン使用による負担軽減のための電気代補助を実施すること。

③ 生活保護利用者に対する夏季見舞金の支給や食糧支援を実施すること。

④ 夏の猛暑での熱射病対策として、民間施設のクリーンシエルターを増やすこと。

⑤ 公共施設に給水機の設置、無料で利用できる給水スタンドの案内を行うこと。民間事業所にも呼びかけること。

⑥ ナフサ由来の資材不足で仕事ができなくなっている実態を調査したうえで、支援を検討すること。

⑦ 子育て世帯等に秋以降、お米の支給など物価高騰に対する独自支援を実施すること。

⑧ 公共のトイレに生理用品を置くこと。

改定健康保険法成立 患者に重い負担増は命脅かす

保険料削減は
183円



OTC類似薬の患者負担増

政府はOTC類似薬の薬剤費の4分の1を保険給付の対象外として「特別の料金」として支払い、残りの4分の3を保険給付として負担割合に応じて定率を支払う仕組みを創設。

2027年3月から、解熱消炎鎮痛剤ロキソニン錠や花粉症

「現役世代の負担軽減」という

が、月額ペットボトル1本分(183円)

今回改定保険法は、OTC類似薬(市販薬と有効成分や使用目的が同じ処方薬)の患者負担増・出産費用無償化に向けて正常分娩に全国一律の単価を設け、公的医療保険で賄う制度の新設・高額療養制度の見直しに当たっての考慮事項の法定化などを盛り込んだ一括法です。

相次ぐ医療制度改悪は「現役世代の負担軽減」の名のもとに行われています。しかし、「OTC類似薬の追加負担」「高額療養費制度

一方、花粉症や慢性疾患、がんや難病で長期療養を必要とする患者には重い負担増が強いられます。負担増によって治療を中断するなど、命や健康、生活を脅かします。

※ 必要な医療は保険診療で給付することを前提としてきた国民皆保険制度の理念から大きく逸脱する重大な改悪です。

医療保険制度改悪による保険料軽減額

制度見直しの項目	1人当たりの軽減額(年額)	月額換算
高額療養制度の見直し (患者負担上限額の引き上げ等)	約 1400 円	約 116 円
OTC 類似薬の追加負担 (処方箋価格の4分の1を特別料金として負担)	約 400 円	約 33 円
長期収載品の選定療養の見直し (後発薬があるのに先発薬を選んだ際の追加負担増)	約 400 円	約 33 円
合計	約 2200 円	約 183 円

OTC薬とは?



OTCは「Over the counter」の略で文字通りドラッグストアや薬局のカウンター越しに購入可能な医薬品のことです。

OTC類似薬は医療機関で医師の診察を受けて処方箋をもらい、薬局で受け取る医療用医薬品です。

長期収載品とは、同じ成分の後発医薬品(ジェネリック医薬品)がある先発医薬品のこと、後発があるのに、先発を選べば負担が増えることになります。